

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川区民会館
施設所管課・担当	東淀川区役所地域課地域グループ（担当：畠山・戸田）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1)貸館運営業務 (2)施設総合管理業務（各種設備機器点検業務） (3)地域のコミュニティ振興に関する業務
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	81.8%/90.0%
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	81.8%以上	90.0%以上
年度実績	65.4%	98.5%
達成率	79.9%	109.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	43,508	40,486	3,022
稼働率	65.4%	68.2%	-2.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	18,910,548	20,101,954	477,548	電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う管理運営経費の支出増加
	計画	18,433,000	18,542,000		
利用料金（使用料）収入	実績	5,744,780	5,433,890	-1,804,820	利用料金収入の減（有料の利用件数が伸びなかったため）
	計画	7,549,600	7,306,700		
自主事業収入	実績	3,732,057	3,819,520	-1,107,343	自主事業収入の減（教室受講者の数が増えなかったため）
	計画	4,839,400	4,704,000		
その他収入	実績	74,870	48,190	74,870	コピー機使用料
	計画	0	0		
合計	実績	28,462,255	29,403,554	-2,359,745	－
	計画	30,822,000	30,552,700		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	17,352,320	17,102,093	0	
	計画	17,352,320	17,102,093		
物件費	実績	7,083,846	6,222,037	-91,031	消耗品など物件費経費の縮減に努めたため
	計画	7,174,877	7,160,805		
修繕費	実績	551,444	1,848,729	1,444	経費増のため
	計画	550,000	550,000		
自主事業支出	実績	3,587,391	3,646,430	-2,009	消耗品など物件費経費の縮減に努めたため
	計画	3,589,400	3,602,900		
その他支出	実績	1,755,403	1,736,902	-400,000	利用料金収入還付資金に充当するため
	計画	2,155,403	2,136,902		
合計	実績	30,330,404	30,556,191	-491,596	－
	計画	30,822,000	30,552,700		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率81.8%以上	79.9%	C	
利用者満足度90.0%以上	109.4%	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ロビーの飾り付けに廃棄チラシ等を用いるなど、紙の再使用を積極的に行った。 ・不使用時の消灯の徹底、冷暖房機の適切な使用に努めた。 ・施設の機器点検、早期発見、簡単な修繕は職員で実施した。	B	・廃棄チラシに加え、廃棄段ボール・ペットボトル等を用いたロビーの飾り付けは、消耗品費の削減につながるだけでなく、ごみの削減の観点から、SDGsの取組にも貢献し、季節感のある快適な空間提供にもつながる取組であるといえる。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・条例や規則等に関する不明点は随時、区に質問し適切に実施していた。 ・自習室開放時は、定期的な見回りをを行い、快適で過ごしやすい空間づくりに努めていた。 ・施設の維持管理については、スタッフによる日常点検、専門業者による点検・修繕を適切に行った。
事業計画の実施状況	B	・年間を通して、事業計画に基づき、他区の区民センター等とも情報交換を行いながら、幅広い世代を対象とした内容で実施できた。 ・広報紙による貸室周知で認知度向上を図った。 ・複合施設（プール・図書館）のみならず、周辺の福祉施設とも連携をとり、共催事業等も実施し、盛況であった。 ・図書館内に区民会館の利用案内ポスターを掲出するなど、利用者が流れるような取組も実施した。 ・自主事業のイベント時は、目を引くチラシを作成し、区広報紙・区広報板やSNSの活用、地域コミュニティ団体への広報協力依頼を行った。また、イベント告知については新たに大阪市公式LINEを活用するなど、広報に力を入れる取組を実践した。
施設の有効利用	B	・空き会議室を自習室として提供する「こぶしのみのりちゃん広場」事業を実施し、空室を有効利用した。 ・ロビーに四季折々の装飾を施し、楽しい雰囲気を出した。 ・課題となっている和室活用に関して、ベビー・キッズ用品お譲り会で、2部屋に分かれている和室のスライディングウォールを開け1部屋にすることで、大量の衣服を展示するという活用をしていた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・多文化共生社会の実現に向けた日本語教室の開催や、個人の防災意識を高めるための防災ワークショップを実施した。 ・地元警察署の協力を得て、女性の被害防止教室やスマホ詐欺被害防止教室を実施した。 ・一人ひとりの人権意識向上のため、全職員が人権に関する講習会等を受講した。 ・夏季には自主事業イベントのチラシを貼付したうちの貸出を通し、熱中症予防啓発と自主事業PRを併せて効果的に実施した。 ・自転車反則金（青切符）制度の導入に伴い、自転車講習会を実施した。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者アンケートを2回実施した。以下は、1回目（全利用者を対象）に実施した利用者アンケートの集計結果の一部。
実施期間：令和7年11月1日～令和7年11月30日
実施方法：利用者へのアンケート配布
回答件数：315件

- 予約までの流れについて ・大変満足50％ ・満足47％ ・不満2％ ・大変不満1％
- スタッフの対応について ・大変満足56％ ・満足42％ ・不満2％ ・大変不満0％
- 清掃について ・大変満足49％ ・満足46％ ・不満5％ ・大変不満0％
- 設備や備品について ・大変満足39％ ・満足38％ ・不満3％ ・大変不満0％ ・使用していない20％
- 総合評価について ・大変満足47％ ・満足52％ ・不満1％ ・大変不満0％

6 外部専門家意見

- ・「こぶしのみのりちゃん広場」は空き室の有効活用であり、単価を上げると利用者が減るなど難しいところだろうが、一度検討してみるのもよい。学生の自習スペースだけでなく、大人の休憩室・居場所としても口コミで広がればよい。
- ・初めての利用のうち知人からが36％で、住民で利用している方の口コミの力が強く、地域に根付いた会館であるため、利用者に和室の使い方をアピールするなど、口コミに繋がるよう取組を継続するとよい。
- ・広報において、SNSの活用がどれほど利用率に繋がっているのかを調べてみるのが望ましい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	目標達成率について、利用率が79.9%、利用者満足度が109.4%となっており、利用率は今後の上昇に向け対策の必要を感じるものの、満足度については高い水準を達成できていると考える。親しみやすく丁寧な対応や、居心地よく快適な空間づくりの維持に努めており、引き続き顧客の定着化ができていることが考えられる。
市費の縮減	B	・廃棄チラシ・段ボール・ペットボトルを用いたロビーの飾り付けは消耗品費の削減につながるだけでなく、ごみの削減や、快適な施設の提供にもつながる取り組みであるといえる。
管理運営の履行状況	B	・条例・規則に基づいた予約等の処理、供用時間中の職員の常時2名以上配置などに加え、各種SNS・ホームページにて部屋メンテナンス等の情報発信をこまめに行い、利用者目線での運営に努めている。 ・自主事業のイベント時に区広報紙に情報を掲載したほか、広報板へのチラシの掲示、町会回覧・SNSの積極的な活用など、多様な媒体を用いた広報活動を行った。貸室自体についても、利用料金の安さをPRするチラシを作成し、広報板に掲示した。 ・空き会議室を自習室として提供する「こぶしのみのりちゃん広場」事業を実施し、空室を有効活用した。 ・人権研修の受講、障がい者雇用の他、授乳スペース・ベビーシートの提供、防災ワークショップを実施した。 ・夏季には自主事業イベントのチラシを貼付したうちの貸出を通し、熱中症予防啓発と自主事業PRを併せて効果的に実施した。 ・自転車反則金（青切符）制度の導入に伴い、自転車講習会を実施した。
総合評価	B	